

総務産業常任委員会会議録

- 1 日 時 令和5年3月13日(月)
14時21分開会 14時48分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：中河つる子 副委員長：田村幸紀
委 員：只野敏彦、鈴木孝寿、中島里司、深沼達生
議 長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：田本尚彦、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 議 件
(1) 所管事務調査の申し出について
(2) その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 14 : 21】

(1) 所管事務調査の申し出について

委員長（中河つる子）： 只今より、総務産業常任委員会を始める。議題は所管事務調査の申し出についてである。6月の定例会までの所管事務調査について、調査申し出事項を協議するというので、皆さんのご意見をいただきたいと思う。

只野委員： 今大事なのは農業ということで、農業に関係したものでやるのがいいと思う。

中島委員： 今まだ思いついていない。

深沼委員： 自分も農業関係の仕事をやっているが、肥料の高騰などは今年の方が厳しい状態。1月から12月まで全てが高騰している状態なので、そういった現状のもと、酪農業の牛乳の抑制に伴う経営悪化も見込まれる中、調査してどういう考えを持っているのかという部分でお聞きしたい部分もある。

鈴木委員： 農業関係も幅広すぎて、調査するところもどこの点をとというのがありますが、もしできるのであれば、農業関係でやったとしても、畑も畜産も一緒に調べても意味がないので、結局今言われているのは経営の問題になってきているのと、畜産は畜産で借り入れる金額を満度に借りて今年に臨んでいる。今年1年乗りきれののだろうかという部分がすごく心配で、調べるなら経営状況だが4月、5月で何ができるかまとまらない。

田村委員： 物価高騰による町民生活の支援はどのような実績があって、今後どういう見通しを立てて、どういう対応をとっていくのか、全体的に全てを救えているのかという大きな項目として調査したらいいのではと思った。その内容が農業主体の支援であったり、調べる時は個別になるが最終的な成果を出すときには、町全体として結果がでるような調べ方ができたらと思った。

委員長： 農業関係が多かったと思う。

中島委員： 項目は別として、道内の所管事務調査もあると思うので、道内の調査をいつやるかというのでも考えて決める必要があるのではないかと思います。

田本局長： 今年度、各常任委員会で、所管事務調査という形で道内研修を行う予算見積もりをしているところである。

深沼委員： セーフティネットの資金をかなり清水町内だけで借りているが、その資金は役場を経由しているものなのか聞きたい。

委員長：暫時休憩する。

【休憩 14：34】

【再開 14：39】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。まとめるとすれば、農業経営についてになるかと思う。

鈴木委員：文言は整理していただくということで、価格高騰に伴う農業経営についてというような感じでどうか。

委員長：価格高騰に伴う農業経営についてという内容でよいか。内容としては農協、酪農、畑作農家の経営について調査をしたい。実施時期については4月、5月で行うこととする。それと、突発的な事項に対応するため、その他所管に関する事項についての申し出も行うこととする。

(2) その他

委員長：その他として何かあるか。

田本局長：文言については委員長、副委員長でという話であったが、整理として、価格高騰の主語として、生産資材等の価格高騰というおさえでいいのか、販売の方の価格高騰なのか。肥料、資料の生産資材等ということでおさえさせていただく。

委員長：それでは、これで総務産業常任委員会を終了する。

【閉会 14：48】